

From 5 5つのセクションから

【NPO法人ぱれっと <http://www.npo-palette.or.jp>】

スリランカ料理&BEER Palette
<http://www.r-palette.com/>

～ カルマキッチン ～

「カルマキッチン」という言葉をご存知でしょうか? 「カルマ」というと「業」などと訳されると同時に、「想いを繋いでいく」という意味合いもあって、誰かから受けた親切をその人に「返す」のではなく、さらに誰かへ「送る」ことによって善意の輪を広げようというものです。飲食店の定休日などを使って、それを形にしたものが「カルマキッチン」。アメリカ発祥のこのお店は、一見普通のレストランですが、サービスを担当する、ボランティアスタッフがお客さんにこう言います。「あなたの食事代はすでに前にご来店された『誰か』から支払われています。あなたはその優しさをこれから来店される『誰か』に繋いで行っていただけませんか? それは必ずしもお金である必要はありません。例えばお皿を洗う、あるいは自分の得意なパフォーマンスを披露して皆さんを楽しませる。何でも良いんです。」と。去る5月13日、日本初となるこの企画がレストランで開催され、100名近くのお客さんが集まりました。「恩返し」ではなく「恩送り」。人の心の温かさに触れた、そんな一日でした。(みなみやま)



【優しさと笑顔で繋がるレストラン】

たまり場ぱれっと
<http://www.npo-palette.or.jp/tamariba/>

～サンシャインダンス教室
 本気モード突入～

毎月第2、第4月曜夜に開催しているヒップホップダンスを習う「サンシャインダンス教室」。今年は7月29日(日)に行なわれる「ぱれコレ2012」に出演することとなったため、それぞれのペースでゆるやかに進んでいた今までの練習から一新し、本気モードになりました。とはいえ、一番本気モードなのは講師をして下さっている宮田健夫先生とスタッフの左右木で、肝心の生徒は本気モードになるにはもう少し時間がかかりそうです。心配しながらも練習風景を見ていると、「ここぞ」という盛り上がる場面では、皆大いに楽しくパフォーマンスを行っており、大変頼もしく感じました。本番に向けて頑張りましょう!(そうき)

おかし屋ぱれっと<http://www.okashiya-palette.or.jp/>

～内緒、内緒の誕生日会～

職員会議の中で、「スタッフ・メンバーの誕生日を全員でお祝いしたいね。」と話しが
 出ました。おかし屋で働いている一人ひとりを大事にしていくという職員達の思いから
 でした。最初に誕生日を迎えたのは4月生まれの河合真里さんでした。誕生日会の準備
 を整えて、いよいよスタート。まずは全員でハッピーバースデーを歌い、手作りケーキ
 を渡して、全員で記念写真を撮りました。主役にはもちろんサプライズ!!皆でドキド
 キしながら準備をしました。限られた時間の中凝った演出など出来ませんが、一緒に働
 いている仲間から祝福されることで、絆を深めてくれると良いなと思います。これから
 誕生日を迎えるスタッフやメンバーがいます。どうぞ内緒に!! (まえかわ)

えびす・ぱれっとホーム

～法人ホームページ内にて公開中～

～ホームのボランティア

本田さん～

これまでもつうしんで何度か名前が出ているホームのボランティアの中で1番身近
 な存在の本田さんの近況をお伝えします。料理ボランティアは、ホームから出て一人暮
 らしをした時に始め、今年で7年目。週1回自宅でヘルパーさんと食事を作っており、
 料理のレパートリーが増えたそうです。仕事が変わって1年余り。新しい環境にも慣れ
 自信がつき表情もいきいきとしています。趣味のフラダンスや温泉旅行も楽しんでおり
 充実した日々を過ごしています。入居者とカラオケに行きリモコン操作を担当してくれ
 たり、買い物や遊園地に同行してくれて、入居者にとって本田さんは頼りになる存在で
 す。これからもみんなのサポートをよろしくお願いします。(いとう)

ぱれっとインターナショナル・ジャパン

～法人ホームページ内にて公開中～

～カーラさんを囲んで勉強会～

4月に紹介したカーラ・ウェストンさんが、休暇で今月22日に来日します。カーラさ
 さんはアメリカのニューハンプシャー州で、障害者の地域自立支援スタッフとして長年活
 躍されており、私は一昨年の11月に障害者の自立生活を見学させていただきました。

この機会にぜひ勉強会を持ちたいとカーラさんをお願いしたところ、快諾をいただき
 ました。ニューハンプシャー州の事例を通して、知的障害者が自立生活を送るために私
 たちは何ができるのかをみんなで考えたいと思います。きっとたくさんのヒントが与え
 られることでしょう。これまでぱれっとが目指してきた「障害者が地域であたり前の生
 活ができる社会づくり」を振り返る良い機会です。どなたでもご参加ください。詳細は
 P16の伝言板です。(たにぐち)